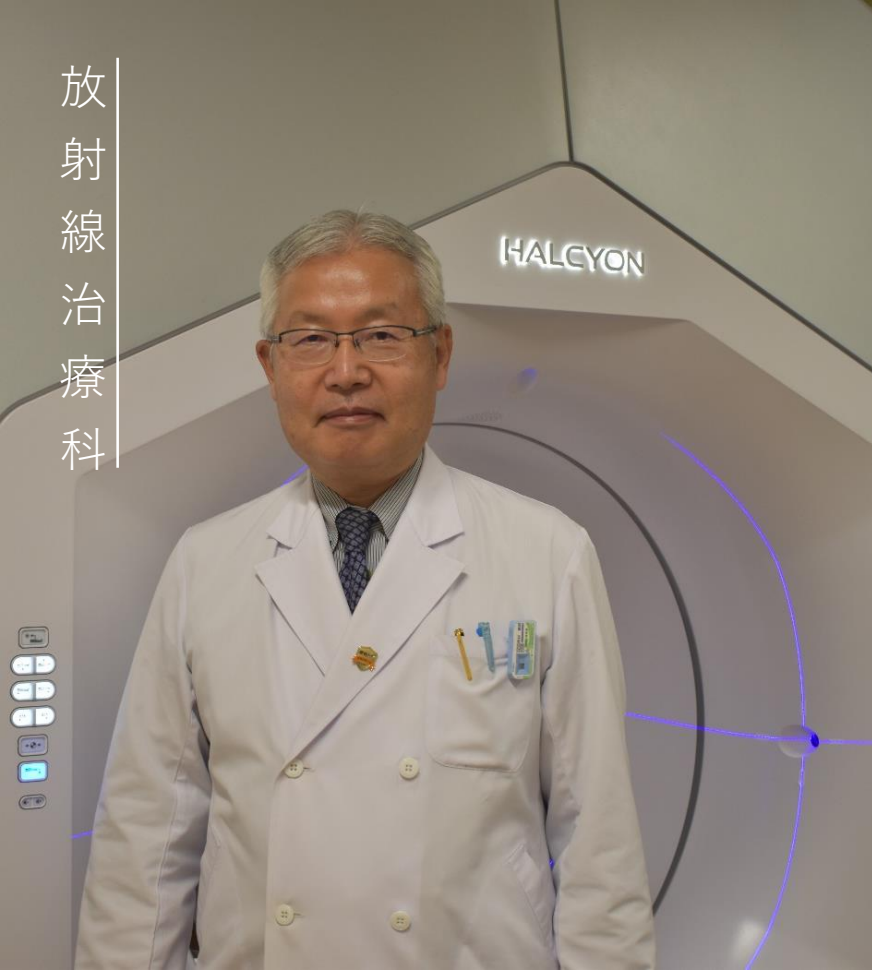




KINDAI CARELINK

June.2022 Vol.27

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL 地域連携広報誌



Profile

1981年京都大学医学部卒
1989年京都大学医学部助手、講師、助教授を経て
1998年近畿大学医学部放射線医学主任教授
2005年放射線腫瘍学部門主任教授
2009年がんセンター長

Qualification 放射線科専門医

趣味 へたなゴルフ、ワイン

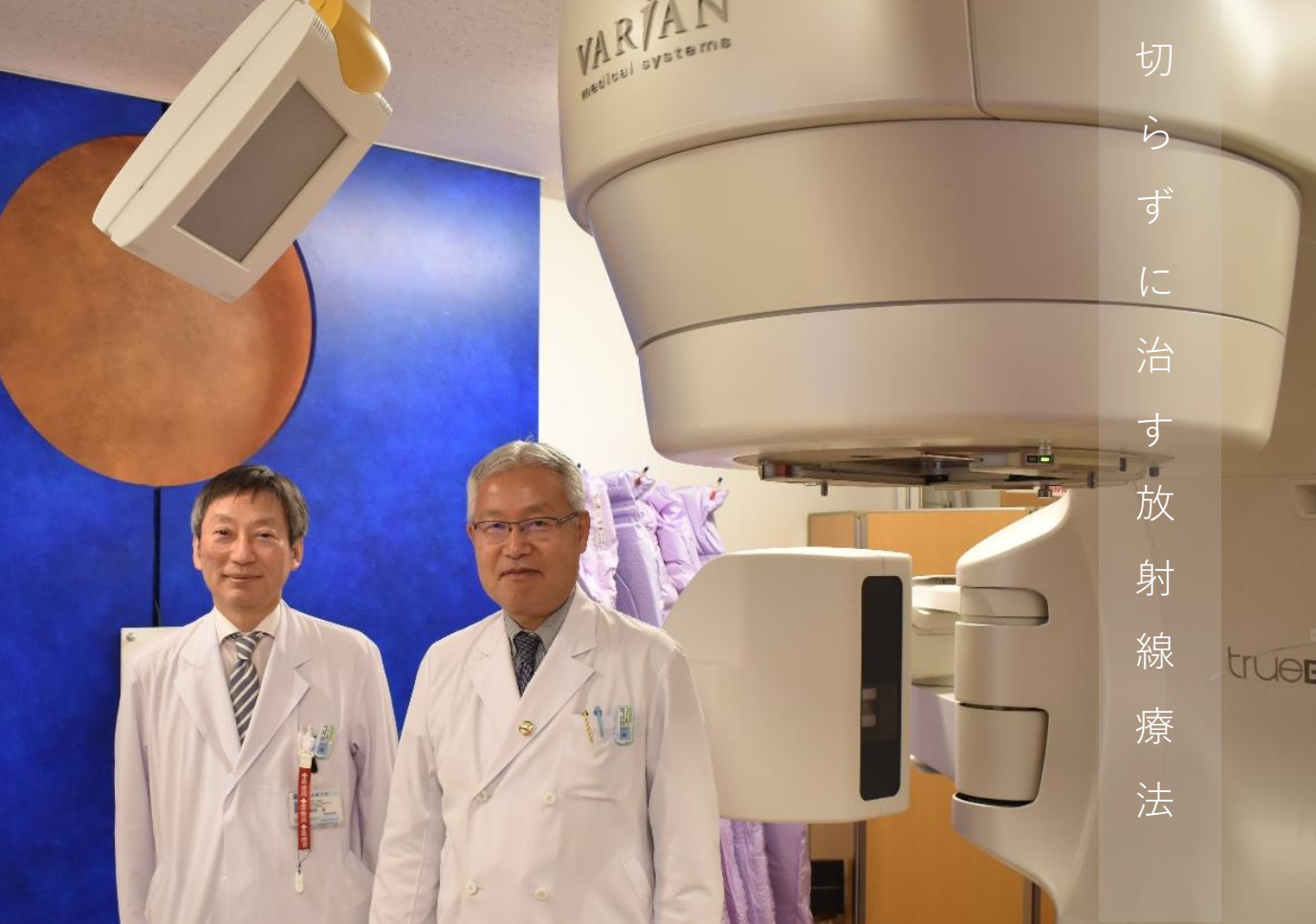
診療部長 西村 恭昌 Yasumasa Nishimura

放射線治療は機能と形態の温存が可能な「からだにやさしいがん治療」です。当科では、放射性同位元素内用療法を含む最新の高精度放射線治療を提供しています。年間放射線治療患者数は800人を超えます。

写真は2台の直線加速器（リニアック）で、いずれもがん病巣に高線量を集中し、放射線治療に伴う有害反応を起こしにくい強度変調放射線治療(IMRT)、定位放射線治療（ピンポイント照射）、画像誘導放射線治療(IGRT)が可能です。頭頸部腫瘍、食道がん、肛門がん、肺がん、前立腺がん、子宮がんなどでは、手術を行わずに放射線治療のみあるいは化学放射線療法で根治が得られます。緩和照射として骨転移や脳転移にも有効です。

連携医の先生方からの直接のご紹介もお引き受けしています。

切
ら
ず
に
治
す
放
射
線
療
法



放射線治療科 教授

細野 眞

Makoto Hosono

Profile

1985年京都大学医学部卒
北野病院等で放射線科医として研鑽
2003年より近畿大学医学部勤務

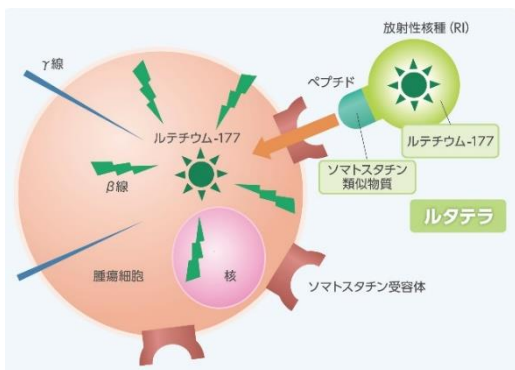
Qualification

放射線科専門医、核医学専門医

趣味

ジョギング

いけばな（医学部華道部顧問）



放射性同位元素内用療法として、ルタテラ®は神経内分泌腫瘍に対する治療薬で、2021年に待望の国内導入が実現し、近畿大学病院で2022年3月から使用開始しました。点滴により腫瘍に集まってルテチウム-177のベータ線を照射します。2泊3日の入院です。またゾーフィゴ®は前立腺癌の骨転移に対してラジウム-223のアルファ線を照射しますが、外来で投与され、副作用が少なくQOLを保つ治療薬です。



【モンテネグロでの寝台特急からの車窓風景】

脳神経外科／脳卒中センター 准教授

佐藤 徹 Tetsu Satow

Profile

1994年 京都大学医学部卒業
京都大学医学部附属病院、財団法人倉敷中央病院などを経て
2004年 米国ペイラー医科大学放射線科に留学
2005年 国立循環器病センター脳神経外科
2011年 国立循環器病研究センター脳神経外科 経管治療医長
2022年4月より 当院脳神経外科/脳卒中センター准教授に着任

Qualification

日本脳神経血管内治療学会専門医、指導医
同学会職責理事、副会長（2023年会長予定）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中学会専門医、指導医

趣味：野球観戦、鉄道旅行

脳血管内治療の発展とともに歩んだ四半世紀

学生時代から人と同じことをするのが苦手で、脳神経外科入局当時まだ実験的治療の様相ただよう脳血管内治療を見て21世紀の治療だと感じ、以後脳血管内治療専従の形でキャリアを重ねてきました。脳血管内治療は150cmのマイクロカテーテルの先でのミリ単位の作業ですが、機器の進歩で安全に行える治療になっています。高水準の治療の提供はもとより、名人芸ではなくきめ細やかな治療戦略と周到的な準備こそが良好な成績の要因である、と伝えながらの治療医育成と、より安全かつ有用な治療機器の開発にも邁進します。



急性期病棟(ACU)
Acute Care Unit

脳卒中センター(SCU)
Stroke Care Unit



【高橋／佐藤】

脳血管障害治療のシャングリ・ラを目指します

私が従事する脳血管内治療は機器、技術の発展により脳卒中の治療に不可欠なモダリティとなりました。脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、フローダイバーター治療、急性期脳塞栓の血栓回収療法、頸動脈ステント留置術、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻に対する塞栓術などはすでに確立された治療であり、その守備範囲はさらに広がることが予想されます。これまでの経験を活かし、脳血管外科のエキスパートである高橋教授、眞田准教授との十分な協議、連携のもと、近畿大学病院は患者さんに最適な治療を提供し、治療メンバーにとっても充実した職場となる「脳血管障害治療のシャングリ・ラ（理想郷）」を目指します。

当院での治療により症状が安定した後は、“かかりつけ医”で治療を継続していただけるように逆紹介を促進しております。

当院と連携している「かかりつけ医」を、簡単に探せるように【かかりつけ医検索システム】を導入しております。



POINT

患者さん自身のスマートフォンから閲覧可能

- ☑ 豊富な検索機能
- ☑ 連携先絞り込み
- ☑ フリーワード
- ☑ 駅
- ☑ 現在地
- ☑ 診療科
- ☑ 診療日

etc...



検索はこちら



Introduction of medical corporation system

連携登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病病連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICT を利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の共有が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）

セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間は IPSec-VPN を利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。
【パソコンの環境条件】については、お問い合わせください。

情報参照していただけるもの

●病名 ●処方歴 ●検歴 ●各種オーダ情報 ●サマリー ●画像情報 ●各種レポート

その他

- ・当院へ通院歴のある患者から同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課まで FAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。
- ・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。（診療情報提供料（I）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）
- ・2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。



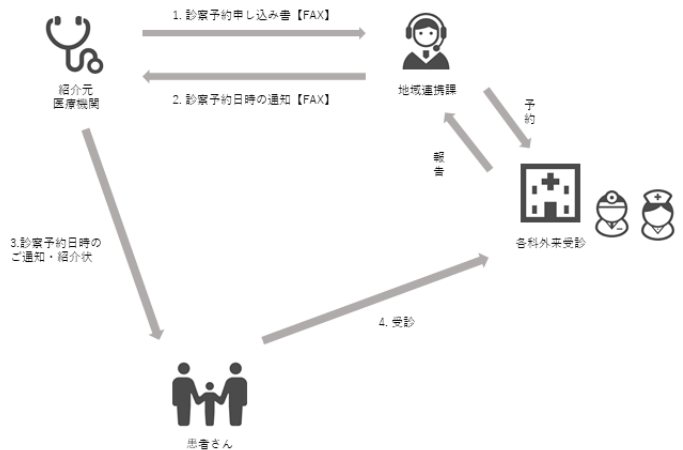
希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。



紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



* ICT地域医療連携ネットワークシステムを導入いただきますと常時診察予約が可能です。

地域連携課 直通TEL **072-366-0241** FAX **072-365-7161**

【受付時間 9:00-20:00】

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9:00-17:00】

072-366-0257 直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】

072-366-0250 重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】

072-366-0920 脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】

0120-145-810 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】

072-366-0133 産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげます。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)